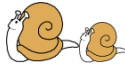


Do CL Column

イノシシの防護柵を設置

—カツムリ NO. 114 から 

増田浩章

平成 29 年度、全国の農作物の鳥獣被害額は、約 164 億円にもなり、そのうち鹿が 5 5 億円、イノシシが 48 億円となっています。

私の住む所は、鹿はまだ来ていませんが、イノシシの被害に皆頭を悩ませています。お芋やみかんが食べられてしまうだけでなく、段々畑の石垣を崩したり、上にある実を食べようとして枝を折られてしまいます。このため、近所では防護柵を設置する方が増えています。


周りの畑に入れなくなると、対策していない畑に被害が集中してきます。我が家は、母が管理できなくなれば雑木林に戻そうと思っていましたので、防護柵はやらなくていいと思っていましたが、農業が生きがいの母の願いもあって、今回、設置することにしました。

市役所から材料費の半額助成を頂き、自分で設置しなくてはなりません。1 人では効率が悪いので、11 月 23 日に藤枝に住む弟に応援を頼みました。娘も山に行ったことがないと言うので、嫁さんも一緒に家族総出で作業です。

弟にはモノラックで資材を運んでもらい、私が支柱（鉄筋）を打ち、金網を張っていきます。娘が針金をカットし、嫁さんが支柱と金網を針金で固定していきます。23 日は 3 分の 2 位まで進み、翌日は息子と 2 人で完成させることができました。

正直、たいへんな作業でしたが、子供達が成人してからは、何かを一緒にやる機会というのはほとんど無かったので、久しぶりに家族そろって働き、良い時間を過ごせ、嬉しかったです。暮れの忙しい時期に手伝いに来てくれた弟にも感謝です。（静岡県静岡市インストラクター）



 [目次へ戻る](#)